

ぬくもりのある武雄市へ

武雄市長職務代理者 古賀 滋

市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに希望に満ちた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

合併後の懸案でありました水道料金につきましても、値下げによる料金統一を図るなど、市民生活向上に向けた課題を順美に解決してきた年でありました。

昨年したこと

昨年は、鉄道の高架切替事業が完了し、「JR武雄温泉新駅」が一部開業しました。さらに九州新幹線西九州ルートに工事が認可されるなど、交流拠点都市として大きな一歩を踏み出すことができました。これは市民の皆様のおかげと深く感謝いたします。

スポーツに目を移せば、県内一周駅伝大会での本市初の3位入賞や、ソフトボール、少林寺拳法、中学校駅伝等で全国大会出場を果たすなど、輝かしい活躍が目立ちました。市民の皆様様の様々な場での活躍が新聞やテレビに登場する機会も多く、武雄市の名を広く全国へ発信できたものと実感しています。

今年のこと

市民病院の在り方に関しては、市民医療福祉の維持向上と行政改革の観点から協議を続け、市議会において医療法人財団池友会に移譲する議案が可決されました。このことを発端に、市長が辞職することとなり、市民の皆様にご迷惑をお掛けいたしました。

重要課題であります地域医療問題につきましては、市民の皆様がどのような医療を求めているのかを第一義に考え、今後とも医療・保健事業の低下を招かないよう取り組んでまいります。

九州新幹線西九州ルートにつきましても、観光やビジネスなど様々な分野で期待される波及効果を最大限に発揮できるように市民と一体になり、知恵を出し合いながら取り組みを進めてまいります。

雇用の場の確保につきましても、本市の経済活性化の特效薬となりうる企業誘致を目指し、県との共同開発による新産業集積エリア事業により、新工業団地の早期完成・分譲に向けて迅速に進めてまいります。

誰もが住みやすいまちづくりのために

その他にも農業、環境問題等、課題は多々ありますが、市民の皆様のお声に真摯に耳を傾けながら、順美に解決を図ってまいりたいと考えております。

新市が誕生して3年になります。総合計画の基本理念「元気が、ぬくもりのある、人々がよくユニバーサルデザイン」のまじりの実現を目指し、誰もが「住んで、来て、良かった」と思っていただけのような取り組みを推進してまいります。

終わりになりますが、皆様がこの市報(新年号)を手にとれる時には市長選を終え、新市長が決まっている頃かと思えます。新市長を先頭に新たな気持ちでまちづくりに取り組んでまいりますので、皆様のご支援・ご理解をお願い申し上げますとともに、皆様のご健康と多幸をお祈り申し上げます。新年圖頭のご挨拶といたします。

1月号の表紙

「ファミリーフットサル交流大会」に向け頑張っています



武雄市は「フットサル宣言」をし、元気な武雄市をめざして、初めてのファミリーフットサル交流大会を1月18日(日)に開催します。

表紙は、三間坂幼稚園と志久保育園の子どもたちです。大会に向け元気いっぱい頑張っています。

ぜひ、応援にお出かけください。

～目次～

新年のあいさつ	2～3
人事行政運営の状況ほか	4～7
都市計画案・償却資産の申告	8
環境課からのお知らせ	
動脈硬化健診	9
がばいたっしゃかプラン	
年金の届出	10
公共住宅入居者募集	
国保・長寿医療制度	11
カレンダー	12～13
保健連絡協議会だより	14
九州新幹線西九州ルート	15
男女共同参画・介護保険	16～17
図書館からのお知らせ	18
文化協会・お誕生日おめでとう	19
みんなのスポーツ	20
まちの話題	21
募集・お知らせ	22～23
よかまち武雄をつくる人々	24

住みよい地域づくり 活気あるまちづくりを

武雄市議会議員 杉原 豊喜

新年あけましておめでとう
ございます。

皆様には、輝かしい希望に
満ちた新春をお迎えのことと
心からお慶び申し上げます。

新武雄市が誕生して4年目
を迎えます。そういった中、
武雄市議会といたしましては
市民の皆様のご理解とご支援
をいただきながら、安全で安
心して住み続けることの出来
るまちづくりに努めて参った
ところでございます。今後も
更に全市民的な目配りと市民の

皆様の声を十分反映しながら、
住みよい地域づくり、活力あ
るまちづくりに鋭意努力して
参りたいと思っております。

さて、昨年武雄市民病院の
経営につきまして、7月16
日の武雄市議会臨時会におい
て市民病院の民間移譲に関連
する議案が可決され、平成22
年2月1日から医療法人財団
池友会へ移譲することが決定
されました。医師不足により
休止されていた救急医療も昨
年8月には再開ができて、市

民の皆様も安心されたものと
思っております。

また昨年2月JR武雄温泉
駅を挟む東西3キロ区間の鉄
道高架による路線の開通と新
駅舎の一部が完成いたしました。
このことにより、踏切8ヶ所
が撤去され線路の南側と北側
の往来がスムーズになり、交
通渋滞の緩和がなされたところ
であります。また、九州新
幹線西九州ルート九州新幹
線建設局武雄建設所の開所式
が執り行われ、今年度は新幹
線の中心線測量や地形測量が
実施される予定であります。

した。本市では平成19年11月
に暴力団関係者から人違いで
無関係の市民が射殺されると
いう市民を震憾させる事件も
起こっており、本市議会にお
いて暴力団の存在を許さない
という強い決意のもとに、暴
力のない明るい社会を実現す
るために、12月定例会にて「暴
力団等による暴力の根絶に関
する決議」を全会一致で議決
したところであります。

期待と可能性を秘めたすば
らしい武雄市を創りあげるた
め、今後とも皆様方の尚一層
のご支援とご鞭撻をお願い申
し上げるとともに、皆様のこ
健勝とご多幸を心からお祈り
申し上げます。



決議第1号

暴力団等による暴力の根絶に関する決議
本市議会では、安全・安心都市宣言に関する
決議を行い、市民の安全意識の高揚と自主的
な安全活動の推進を図るとともに市民生活の
安全と平和で豊かな市の発展のために、毅然
とした姿勢で反社会的な犯罪組織である暴力
団の根絶に向けた取り組みを進めてきたところ
である。

しかしながら、これらの取り組みを無視す
るかのごとく、暴力団の内部分裂に端を発し
た抗争事件が県内や九州各地において頻発し、
善良な市民を巻き込む痛ましい事件が起きて
いる。平成19年11月本市において暴力団関
係者から人違いで無関係の市民が射殺される
という市民を震憾させる事件が起きた。こう
いった事件が起きるたびに、市内では警察に
よる厳戒態勢が敷かれ、市民生活に大きな不
安をもたらしている。さらに、現在みやき町
においては、暴力団の拠点となるような施設
の改修工事が進められている。このような暴
力団の行為は、平和で安全な生活を願う市民
に対する重大な挑戦であり、断じて許すこと
はできない。

よって、我々は、暴力団の存在を許さない
という強い決意のもとに、暴力のない明るく
豊かな社会を実現するため、市民・警察・行
政・議会等の強力な結束により、市民の総力
を結集し、全力を挙げて暴力の根絶にまい進
するものである。以上、決議する。

平成20年12月9日

武雄市議会